

学校運営協議会 議事録

校名	府立千里青雲高等学校
校長名	浅尾 悦司

開催日時	令和 5年 5月 31日(水) 15:40 ~ 16:55
開催場所	府立千里青雲高等学校 1号館1階 地域交流室
出席者(委員)	会長 副会長 委員3名
出席者(学校)	校長 教頭 事務長 首席2名 教務部長 進路指導部長 生徒指導部長 特別活動部長 保健部長 共生推進教室コーディネーター
傍聴者	
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価 教育課程実施計画 年間行事予定 進路指導結果 年間遅刻統計 スクール・ポリシー
備考	

議題等(次第順)

- (1) 校長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 実施要項確認
- (4) 会長挨拶
- (5) 学校報告
 - ア. 学校運営協議会への意見書の提出
 - イ. 学校経営計画 他
 - ウ. 教務部
 - エ. 進路指導部
 - オ. 生徒指導部
 - カ. 特別活動部
 - キ. 保健部
 - ク. 共生推進教室
 - コ. スクール・ミッション スクール・ポリシー について
- (6) 意見交換
- (7) 校長謝辞
- (8) 諸連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 学校経営計画
進路結果 関関同立現役合格者30名 産近甲龍4女子大126名
国際交流の推進 台湾web交流を以前より行っていたが、6月15日に台湾より来校、調印式を行うこととなった。
働き方改革の推進 会議、配付文書のペーパーレス化や欠席連絡のweb上での入力によって会議時間の短縮など効果をあげている。
志願倍率の推移 中学校での希望調査にもあるようにR3年まではV字型 R4年からは右肩上がり、特にR5年度は常に1倍を超えた。この間、地道に広報を続けてきた成果が現れている。
- 教育課程 年間行事予定
新カリ移行に伴って特色ある選択授業を従来より残した状態ではあるが、選択者数がやや減ってきている。ここ数年悩まされてきたコロナウイルス影響なく、1年間を過ごしていきたい。
- 14期生進路報告
11期生以降は右肩上がりで進学者数は増えている。努力をすれば、それが実る入試になってきている
総合型(AO) 学校推薦型(公募推薦)へ積極的にトライし、一般受験へのモチベーションや安心につながっている。
総合型選抜は以前は芸術系が多かったが、近年はその他学部にも広がってきている。
- 携帯電話等通信機器について
学校への持ち込みは許可しているが、教室内には放課後、休み時間なども持ち込まないように指導。
通信機能付きの時計についても同様の扱いとした。

●自転車通学について

8割の生徒が自転車通学しており、ヘルメット着用が努力義務となったため、保護者にも周知している。生徒の着用については現在のところごく少数となっている。

●特別活動部基本方針

クラブ、学校行事で生徒の自主性を育む。その中で個人のスキルアップ、集団作りを目的としている。6月体育祭 9月文化祭 音楽祭 と、今年度の行事はコロナ流行前の状態へと戻して実施していきたい。(特に音楽祭)それにより、3年生の取り組みを1, 2年生が参考にして次の行事を作っていくしてほしい。

●クラブ加入状況

現在74.3% 80%を目標にしていきたい。昨年度は近畿大会には4クラブが出場。先日は陸上部が近畿大会に出場を決めた。

●外部連携

豊中第九中学校と12月にイルミネーションを実施。今後も色々な団体と積極的に続けていきたい。

●生徒会執行部

役員生徒だけでなく、サポーターという形でも参加してくれており、現在14名。ウクライナへの募金活動などもおこなった。

●保健部

生徒たちにマスク着用を求めているが、咳をしているなど気になるという生徒は着用している。教職員についてもマスク着用は自由である。登校時はマスクを着用しない生徒は増えてきており、5~6割程度。

●共生推進教室

昨年度と体制は大きくは変わっていない。北摂つばさ高校とも連携し、交流する機会も設けた。他府県からの見学や共生推進教室生徒の保護者交流会、とりかい高等支援学校の文化祭への出展、近隣小中学校へ向けての説明など、魅力発信につなげていきたい。

●スクールミッション スクールポリシー

以前御覧いただいたスクールミッションに続いて
グラデュエーション・ポリシー カリキュラム・ポリシー アドミッション・ポリシー の案を定めた
学校運営協議会にて承認いただいてから提出したい

質疑応答・意見交換

- 通常であればアドミッション・ポリシー→カリキュラム・ポリシー→グラデュエーション・ポリシーの順番だが 府立高校は逆なのか？
⇒卒業時の姿を先に定め、そこに向けて取り組みを考えていくという順番である。
- 身体計測において、体重が激減などした生徒がいた場合の対応はどうしているか。
⇒5kg程度ならダイエットも含めて話をするが、それ以上の場合には摂食障害なども疑いながら対応している。学校医とも相談しながら、受診を勧める場合もある。
- 学校の公式SNS配信は中学生向けや保護者向けなどターゲットを定めることが重要である。例えば10代の若者たちは短時間、10秒の動画などで情報を収集しているので、動画の方がより認知度は上がるはずなので、うまく活用してほしい。
- 遅刻件数について、遅刻の要因としては何がが多いのか。また、体調不良や電車の遅延、雨天などについては学校の方策としてはどのようなものを考えているのか？
⇒要因として多いのは体調不良である。日ごろの生活習慣や、就寝時間など聞き取りながら、改善策があれば提案している。交通機関の遅延などは遅延証明で対応している。
- クラブ活動の平日2時間 休日4時間は守られているか。
⇒平日は18:30が下校時間である。休日も半日の活動のため、約4時間となっている。
- ボランティアのあり方も変わってくる中で、高校生が果たせる役割も変わってきている。企画段階から関わっていくことで千里青雲の魅力発信にもつながるのではないかと。また、子ども食堂にも高校生が積極的に関わってほしい。
⇒個人的に関わっている生徒もいる。その他、地域団体のクラフト体験等の材料収集など協力できることもある。
- 体育祭はかなり厳しい暑さになるのでマスクはどうするか？
⇒積極的に外すように呼びかけている。体育の授業でも外す生徒が増えている。
- クラブの入部率について、今の2、3年生は入りたくても入れなかった世代。中途入部や転部も推奨するなどしてはどうか？新チームになるタイミング、2学期、文化祭をめざす夏休みなど。生活にハリが生まれれば遅刻も減っていくのではないかと。また、大人にとってはコロナ以前に戻るが、生徒たちにとっては新しいフェーズに入っていくのでそのあたりのケアも必要ではないかと。

次回の会議日程

日時	令和5年11月7日(火)15:40～
会場	府立千里青雲高等学校 地域交流室